



# 本気・根気・元気

令和6年5月9日発行【第2号】

発行者：佐賀市立昭栄中学校

校長 永田康子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -

生徒会スローガン：飛翔～impossible is nothing～

新年度がスタートして、1か月ほどが過ぎました。新緑がまぶしいこの季節、昭栄中の生徒たちもまぶしく輝く季節です。生徒たちは新しい環境を受け入れ、少しずつ慣れてきたころかと思います。朝の挨拶もさわやかに校門をくぐる生徒たちが増えました。年度当初は多くのことが新たにになりますので、ざわざわすることもありますが、全体的に落ち着いた、大変よいスタートを切ることができています。

4月25日(木)～26日(金)、3年生は熊本への修学旅行でした。私も引率として同行しましたが、バスの中やホテルでの過ごし方、活動場所での言動、話の聞き方など感心することばかりでした。この3年生が今年度の昭栄中をどうリードしていくのか大いに期待しているところです。26日(金)には、1年生、2年生もバス旅行でした。新たな仲間と何かを体験することでお互いの心の距離もぐっと近づいたことと思います。昭栄中の生徒たちが、これからの学校生活の中で、互いに高め合っていきながら成長していく姿が様々な場面で見られることと思います。



## 価値観の違いは乗り越えられるのか

5月7日(火)の全校朝会では、価値観の違う人と仲良くなれるかということについて考えました。「あなたが学校生活の中で人と関わる時に大切にしていることは何ですか？」をテーマにグループで自分の考えを伝え合いました。価値観とは、その人が大切にしているものの考え方ですが、ときには自分の価値観だけが正しいと思っていたり、自分が正義だと譲らなかつたりして対話が成立しないこともあります。私たちは皆それぞれの価値観をもっています。似ていることもありますが、全く同じではありません。生徒たちには、そのことに改めて気づき価値観の違いはあっても互いに協力しながら何かを作り上げたり、何かを成し遂げたりする喜びを感じてほしいと願っています。そして、生徒たちには「価値観の違いを乗り越えるカギは『対話』だ」と伝えています。学校生活の中でお子さんが大切にしていることは何なのか、是非ご家庭でも話題にされてください。また、保護者の方が大切にされていることもお伝えいただければと思います。

価値観の違いを受け入れるということについては、入学式の「歓迎の言葉」の中で生徒会副会長のKさんも述べていました。全校朝会でもう一度その部分を伝えてもらいました。以下に紹介します。

今日は、皆さんに中学校生活を楽しむ秘訣を教えます。それは、人の考え方はそれぞれ違うということ相互に理解することです。当たり前のように思えますが、実際はとても難しく、協調性がなければみんなの行動がばらばらになったりしてしまいます。ですが、考えの違いがあることを前提にし、それぞれの価値観を理解することで解決策も見つかるはずですよ。ここまでが入学式で話した内容でした。この話の中で、私が一番伝えたいのは価値観の違いを受け入れるということです。これから体育大会では各団全員が協力するということが重要になってきます。

## 令和6年度 体育大会スローガン「情意投合」～今までにない最高の歴史を創れ～

5月26日(日)は体育大会です。5月20日(月)から練習が始まります。いつもはあまり関わることのない先輩や後輩、同級生と協働していく必要があります。約1週間の練習や本番の活動を通して、価値観の違いは乗り越えられるのだということを実感してほしいと思います。

暑い中での練習になると思いますので、今後ご家庭での健康管理をお願いいたします。